

荒川区国際交流協会

2011年8月16日発行

事務局だより 8月号

<http://www.arakawa-kokusai.com>

e-mail: bunka@city.arakawa.tokyo.jp

Tel 03-3802-3798

Fax 03-3802-4769



荒川区・ドナウシュタット区友好提携15周年記念特集



東京荒川少年少女合唱隊が親善大使としてウィーンに遠征しました！

東京荒川少年少女合唱隊がウィーン市ドナウシュタット区との友好提携15周年及び復興支援をいただいたことへの感謝の気持ちを伝えるため、ウィーン市を訪問し、合唱を披露しました。

荒川区とウィーン市ドナウシュタット区は、毎年高校生の相互派遣を行っています。また、ウィーン大学の日本語学科の学生を毎夏、荒川区役所にインターン生として受入れています。

今回の合唱隊のコンサートでは、ヴェーデル元区長をはじめ、これまでのホストファミリーの方々や派遣高校生、大学生が協力してくださり、草の根交流の広がりとしら楽しさを実感することができました。おかげさまでコンサートは大成功でした。

また、在オーストリア日本大使館の後援をいただき、岩谷全権特命大使主催の大使公邸レセプションでも合唱することができました。

合唱隊のメンバーにとっても、荒川区及びドナウシュタット区関係者の皆様にとってもお互いの交流の足跡を確認できるいい機会となりました。

ご支援、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。



【7月28日(木)】

西川区長に表敬訪問し、ウィーンでの活動予定と抱負をメンバーから伝えました。

西川区長の温かい励ましの言葉に合唱隊メンバー一同笑顔で応えていました。今回の遠征にご協力いただいた元オランダ大使、現在は荒川区顧問の小池寛治氏もお越しくだり、色々とうィーンでの過ごし方についてアドバイスをい

たきました。

合唱隊のおそろいのTシャツには、ドイツ語で「支援をありがとう。私たちは、前進します」と書かれています。

【8月2日(火)】

ドナウシュタット区にあるショッピングモールドナウツェントラルの中でストリートライブを行いました。ウィーン市ドナウライオンズクラブの皆様から東日本大震災に対する義捐金をいただいたことに感謝し、国内友好都市岩手県釜石市の「復興の狼煙プロジェクト」の写真を展示し、聴衆の皆様から日本への応援メッセージをいただきました。



【8月3日(水)】



ドナウシュタット区植物園で友好提携15周年を記念する植樹祭を行いました。

在オーストリア日本大使館磯正人公使、ドナウシュタット区ピラー区長代理、佐々木時子荒川区国際交流協会理事からご祝辞をいただいた後、東京荒川少年少女合唱隊の指揮者米谷氏が桜の記念植樹を行いました。合唱隊は、「荒川そして未来へ」や「上を向いて歩こう」などを合唱しました。



夕方は、日本大使公邸で岩谷滋雄大使主催による荒川区及び東京荒川少年少女合唱隊とドナウシュタット区の友好交流を祝う歓迎レセプションに参加しました。大使ご令室のご配慮により、おいしい日本料理を堪能しながら、15年間の交流でお世話になった方々と語り合い、そのご支援とご協力に感謝しました。

【8月4日(木)】



ドナウシュタット区にあるコプト教会で「東日本大震災被災者支援感謝のコンサート」を開催しました。岩谷大使、ご令室にもご臨席賜り、友好的な雰囲気の中でコンサートをすることができました。合唱隊のメンバーは日頃の練習の成果を発揮して美しいハーモニーを響かせ、最後は拍手喝采、スタンディングオーベーションの最高のかたちで終わることができました。



友好提携15周年記念区民ツアーを実施しました！

東京荒川少年少女合唱隊のウィーン派遣に合わせ、ドナウシュタット区をはじめとした、ウィーン、パリ及びモンサンミッシェルを観光するツアーを、8月1日(月)から6泊8日の期間で実施いたしました。

ウィーンでは、市内観光とともにドナウシュタット区主催の式典及び在オーストリア日本大使公邸でのレセプションに出席しました。東京荒川少年少女合唱隊の合唱を応援するとともに、ドナウシュタット区民の皆さまと交流を図ることができました。今から16年前にも、東京荒川少年少女合唱隊がドナウシュタット区の地で、合唱を披露しており、このことが両区の友好提携のきっかけとなっております。このように友好提携15周年式典で再び合唱隊が力強い歌声を披露できたことはとても感慨深いことだとツアー参加者の方々は声を揃えておっしゃってくださいました。また、フランスのおきましては、パリ市内の街並みとともに、モンサンミッシェルでの昼夜の景色をじっくり堪能することができました。



【ウィーン市立公園で昨年荒川区に研修にきたウィーン大学生から説明を受ける】



【レストランでの一コマ】

6泊8日のツアーが事故やケガなく実施できましたのは、ツアー参加者のご協力のおかげであります。ツアー参加者の皆さま、どうもありがとうございました。さらに友好提携15周年を記念するイベントに関わ



【モンサンミッシェルの頂上で記念撮影】

ってくださいましたドナウシュタット区の皆さま、在オーストリア日本大使館の皆さま方にも、大変お世話になりました。改めて深く感謝申し上げます。これからもドナウシュタット区の皆さまとともに、高

校生相互派遣事業を継続して実施し、さらに草の根拘留を重ねてまいります。

今後とも会員の皆さまの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



【世界遺産モンサンミッシェルで

贅沢に2日間滞在しました】

東日本大震災直後にドナウシュタット区ライオンズクラブ様から、東京荒川ライオンズクラブ様に対し、多くの義捐金をいただきました。今回の周年行事に合わせて、東京荒川ライオンズクラブ様から返礼の品である錦絵、扇子、Tシャツを日本大使公邸でのレセプションでお渡ししました。写真はドナウシュタット区ライオンズクラブの皆さまです。東京荒川ライオンズクラブ様には、両区の高校生相互派遣事業に対し、継続的な支援をいただいております。



★今後の行事予定★

□「災害時自分の命を守るためには」講習会を開催します！

災害時に外国出身者はどうなるの？地震が起きた時、まずどうやって逃げればいいのか？情報はどこで手に入れるの？帰宅困難者になった場合どうすればいいのか？災害多言語支援センターって何？

今回の東日本大震災の経験をもとに、外国人の方がもっと安心して日本で暮らせるように、ワークショップ形式の講習会を開催します。

- 日 程 平成23年9月10日（土） 13:30～15:00
- ◆ 場 所 生涯学習センター 荒川区荒川3-49-1
- ◆ 募集人数 40名
- ◆ 申込方法 住所、氏名、電話番号を記入の上、メール、電話または直接窓口までお申込ください。

当日、外国人参加者の通訳ボランティアを募集します。通訳ボランティアとしてご参加いただける方は、住所、氏名、対応できる言語を電話またはメールでお知らせください。よろしくお願いいたします。

□「国際交流バスハイク」参加者を開催します！

事務局だより7月号でもお知らせしましたように、毎年恒例で大変好評をいただいている国際交流バスハイクを開催します。今回は荒川区の交流都市、千葉県鴨川市を訪問し、鴨川シーワールド見学、牛の乳しぼり体験を行います。帰りには東京アクアラインの海ほたるにも寄ります。多数のお申し込みをお待ちしております。

- 日 程 平成23年10月16日（日）
午前7時15分区役所正面玄関集合、午後6時30分散会予定
- ◆ 行 き 先 千葉県鴨川市（荒川区交流都市）
- ◆ スケジュール 午前中 鴨川シーワールド（昼食含む）
午 後 カスヤファームで牛の乳しぼり体験
東京アクアライン「海ほたる」にてお土産購入等
- ◆ 募集人数 70名（大型バス2台を予定）
- ◆ 参加資格 区内在住・在勤・在学の外国人35名・日本人35名
- ◆ 参加費 会員・学生 3,000円 会員以外の方 4,000円
- ◆ 申込期間 8月22日（月）から9月16日（金）まで
- ◆ 申込方法 住所、氏名、電話番号、国籍、学校名等を記入の上、メール、電話または

直接窓口までお申込ください。

協力会員の方からのご紹介です！

第一回全日本中国語作文翻訳コンクールのご案内

1. **キャッチフレーズ** 「つなごう、日中を！ 深めよう、絆を！ 中国語で」

2. **テーマ** 東日本大震災と日本人・中国人

※東日本大震災、四川汶川大地震、日本も中国も大きな地震災害を受けた。政府の対応、国民の行動、外国の援助、世界の世論、災害の現実、復興への努力、家族への思い、人々の絆、継承すべきこと、反省すべきこと、学びあうべきこと、日本への影響、中国への影響・・・自分の考えや思いを日本語と中国語で表現してみませんか？

3. 応募資格

学生：中国語ができる小、中、高、専門学校、大学、大学院などに在学している学生。

社会人：学生以外の中国語ができるすべての日本人。

4. 作文翻訳要領

1) 作文と翻訳の手順：日本語で作文→中国語に翻訳(表題は自由)。

2) 文字数：中国語訳文 1200 文字以内(厳守)(表題、氏名、出典を含む)。

3) 書式：MS 明朝、10.5 ポイント(Word)。横書き。A4 サイズ。プリントアウトや手書きも可。

4) 応募作品は未発表の自作品。引用などは必ず出典を明記。

5) 応募作品は返却しないこと。

5. 応募方法

メール：下記のメールアドレスに添付ファイルで翻訳作品を送ってください。件名は「第一回全日本中国語作文翻訳コンクール応募」と記入してください。アドレス：info@jctsc.co.jp

郵送：下記の住所に応募用紙と翻訳作品を送ってください。封筒には「第一回全日本中国語作文翻訳コンクール」と朱書きしてください。

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-37-5-203 日中翻訳館 中国語作文翻訳コンクール担当

※ 各ページに氏名、性別、年齢、連絡先、中国語学習時間、社会人または学生を明記してください。

6. **受付期間** 2011 年 10 月 1 日～2011 年 10 月 31 日

7. 審査方法

学生の部と社会人の部に分けて、各作品とも作文 50 点、翻訳 50 点の配点で採点。

第一次審査：各部の成績上位 30 作品を選出。

第二次審査：第一次審査で入賞した 30 作品から各受賞作を選出。

8. 賞

最優秀賞：学生の部・社会人の部各 1 名(賞状+記念品)

1等賞：各 2 名(賞状+記念品)、2等賞：各 3 名(賞状+記念品)、3等賞：各 5 名(賞状+記念品)

9. 発表

2011 年年末に受賞者にメールでお知らせするとともに日中翻訳館のホームページにて発表。

10. 主催 日中翻訳館株式会社

お問い合わせ：TEL：03-6806-7190 FAX：03-6806-7191 E-mail：info@jctsc.co.jp

Skype：jctsc20110401 MSN：jctsc@hotmail.co.jp URL：<http://www.jctsc.co.jp>

中国語作文翻訳コンクール担当

「事務局だより」を e-mail で配信します！ ぜひ、ご利用ください！

下記のアドレスに「事務局だよりのメール配信希望」の旨、お知らせください。

なお、メール配信となった方には郵送しませんので、ご了承ください。

荒川区国際交流協会事務局 e-mail：bunka@city.arakawa.tokyo.jp